

北摂里山博物館運営協議会負担金について

産業文化部北部振興企画課

1 北摂里山博物館運営協議会について

(1) 概要

平成 23 年（2011 年）に阪神北県民局が中心となり、知識経験者や阪神北の 5 市町（伊丹市、川西市、三田市、宝塚市、猪名川町）、神戸新聞社及び能勢電鉄株式会社を委員とする「北摂里山博物館構想推進懇話会」を設立し、この懇話会において「北摂里山博物館構想」を策定。平成 24 年（2012 年）3 月 22 日に「北摂里山博物館運営協議会」を設立した。

この構想では、阪神北県民局管内にある 30 箇所（里山）の一つひとつを展示物に見立て、一帯を「北摂里山博物館（地域まるごとミュージアム）」として整備し、生産活動はもとより環境学習、野外活動など、訪れる人々それぞれのニーズにあわせて利活用されることを通じ、北摂里山の持続的な保全を図り、北摂地域の活性化につなげることを目的としている。

(2) 組織

知識経験者や阪神北の 5 市町（伊丹市、川西市、三田市、宝塚市、猪名川町）、神戸新聞社及び能勢電鉄株式会社に加えて、環境活動団体等の関連団体の代表やマスコミ関係者などによる運営協議会を設置している。

(3) 令和 4 年度（2022 年度）実施事業（令和 5 年度（2023 年度）事業計画は 6 月頃の総会にて決定予定）

ア 自主事業

里山での自然観察・ウォーキングなどのイベント開催、北摂里山データベースの構築、ポスター・リーフレットの作成、Web サイトの運営 など

イ 補助事業（北摂里山魅力づくり応援事業）

里山の再生、保全、利活用を行う団体の助成と取組事例の共有

ウ 受託事業（北摂里山大学事業、こども北摂里山探検隊事業 など）

里山への理解を深め、保全や生物多様性の実現に取り組むボランティアの育成、小中学生対象の里山フィールド体験の提供など

(4) 令和5年度市町負担金の内訳

基本額 300 千円 + 拠点数割額 (500 千円を里山拠点数で案分)

(単位：千円)

	定額	里山拠点数	拠点数割額	負担金額
宝塚市	300	9	130	430
伊丹市	300	2	30	330
川西市	300	8	120	420
三田市	300	9	130	430
猪名川町	300	6	90	390
計	15,000	34	500	2,000

2 北摂里山について

・里山 全 34 箇所

・宝塚市域内 9 箇所 (うち①～⑤の 5 箇所は西谷地域内)

①桜の園亦楽 (えきらく) 山荘②県立宝塚西谷の森公園③丸山湿原

④宝塚自然の家⑤松尾湿原⑥北雲雀きずきの森⑦ゆずり葉の森

⑧山手台南公園⑨北中山やすらぎの道